

## 会よりのお知らせ

### ○ 昭和 61 年度第 4 回常任幹事会

昭和 61 年 11 月 10 日 (月) に東京、虎ノ門の第 9 森ビルにおいて開催され、庶務、会計、「光学」編集、講演会・講習会などについて報告と審議が行なわれました。とくに、本年関西で開催される第 24 回サマーセミナーのテーマを「新しい光学素子」(設計、製作、評価)とすること、新たにナイトセッションおよび見学会を行なう予定であることが報告されました。

また、昭和 61 年度幹事選挙の結果、第 15 巻第 5 号掲載の幹事会推薦候補の 25 名の方々が新幹事に決定しました。

### ○ 昭和 61 年度第 4 回編集委員会

昭和 61 年 11 月 7 日 (金) に東京、本郷の学士会分館において開催され、「光学」各号の編集状況と企画などについて報告と審議が行なわれました。また、第 16 巻から用いられる表紙デザインが決定されました。

### ○ 第 13 回冬期講習会のお知らせ

「高精度結像光学系の理論と応用」のテーマで、昭和 62 年 1 月 26 日 (月)~28 日 (水) に東京、四谷の上智大学において開催されます。詳細については第 15 巻第 5 号巻末綴込みの案内をご覧ください。なお、前号掲載記事中、昭和 61 年とあるのは昭和 62 年の誤りです。訂

正いたします。

### ○ 昭和 61 年度光学懇話会北海道講演会のお知らせ

昭和 62 年 2 月 5 日 (木) に札幌、北海道大学工学部において、光学懇話会初めての試みである第 1 回北海道講演会が開催されます。詳細については第 15 巻第 6 号 525 ページの案内をご覧ください。

### ○ 第 20 回光学五学会関西支部 連合講演会のお知らせ

「最近の画像技術をさぐる」のテーマで、昭和 62 年 2 月 6 日 (金) に大阪、堂島浜の中央電気クラブにおいて開催されます。詳細については第 15 巻第 6 号 526 ページの案内をご覧ください。なお、参加ご希望の方はお早めにお申込みください。締切りは昭和 62 年 1 月 23 日 (金) です。

### ○ 微小光学研究グループよりのお知らせ

「最近の光制御デバイス・回路」のテーマで、昭和 62 年 2 月 2 日 (月) に東京、富士写真フイルム(株)本社ホールにおいて開催されます。詳細については第 15 巻第 6 号 521, 522 ページをご覧ください。

### ○ 「光学」の新しい表紙について

昨年の公募 (15 巻 1 号 82 ページ) に対し、3 名の方より 5 点の応募がありました。8 月の編集委員会 (61 年度第 3 回) で選考を行ない、最終的には投票により東京在住の商業デザイナー花岡学氏の作品に決定しました。

## 「光 学」月刊化のお知らせ

本号から、今まで隔月、偶数月に発刊されていた「光学」が毎月発行に変わりました。編集委員一同、従来にも増して誌面の充実を図りたいと考えております。とくに原著論文(研究、研究速報、技術報告)の速報性が大幅に改善されますので奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

また、これに伴い、光学論文賞に関して、光学懇話会の調査する雑誌が第 15 巻第 4 号に掲載されました従来の 14 誌から以下の 4 誌に変更されます。

「光 学」

「応用物理」

「Jpn. J. Appl. Phys. Part 1」 「Jpn. J. Appl. Phys. Part 2 (Letters)」

なお、自薦、他薦の場合に掲載雑誌についての制限がないのは従来どおりです。「光学」からも受賞論文の出すことを期待しております。

## 「光学」投稿規定

昭和47年2月19日 制定

昭和57年2月19日 改訂

昭和60年4月1日 改訂

昭和62年1月1日 改訂

「光学」は(社)応用物理学会光学懇話会が発行する月刊の機関誌で、光学および光技術に関する原著論文、解説記事、その他の光学懇話会会員に必要な記事を掲載します。原著論文は会員がいつでも自由に投稿することができます。解説記事等は編集委員会から執筆を依頼します。ただし、原稿の掲載の可否はすべて編集委員会で審議します。

原稿は日本語で書いても英語で書いてもよい。日本語の場合は本会専用の原稿用紙を用い、「光学」執筆要項に従って書いてください。英語の場合は別途定める執筆要項によってください。

原稿には規定枚数(刷上りページ数)があります。それを超過する場合は、編集委員会が著者に対して短縮を要請することがあります。

### 1. 内 容

#### 1.1 原著論文

**1.1.1 研究論文:** 光学および光技術に関係ある諸分野の原著論文。他誌に発表または発表予定の原著論文と同一主題であっても、その中の光学および光技術に関する部分の記述ないし検討内容が未発表のものであればよい。長さは原則として図・表を含めて原稿用紙31枚(刷上り8ページ)以内。

**1.1.2 研究速報:** 光学および光技術上の新しい提案、討論または速報的内容をもつ短い原著論文。原則として図・表を含めて原稿用紙11枚(刷上り3ページ)以内。

**1.1.3 技術報告:** 光学および光技術の研究開発上新たに得られた装置および諸データなどに関する報告。研究実施上における経験も記すことが望ましい。原則として図・表を含めて原稿用紙31枚(刷上り8ページ)以内。

#### 1.2 解説記事

**1.2.1 総合報告:** 光学および光技術の特定の分野について最近の進歩を広い視野から総合的にまとめて報告する。文献が整備されていることが望ましい。長さは図・表を含めて原稿用紙39枚(刷上り10ページ)以内。

**1.2.2 解 説:** 光学および光技術の特定の分野について最近の成果をわかりやすく解説する。基本的な文献が整備されていることが望ましい。図・表を含めて原稿用紙23枚(刷上り6ページ)以内。

**1.2.3 最近の技術から:** 最近進歩の目覚しいあるいは注目されている光技術の概観を、特に光学産業との関連にもふれ、タイムリーに伝える。図・表を含めて原稿用紙7枚(刷上り2ページ)以内。

**1.2.4 講 義:** 光学および光技術の特定の分野について体系的にわかりやすく講義する。図・表を含めて原稿用紙31枚(刷上り8ページ)以内。

#### 1.3 その他の記事

**1.3.1 巻 頭 言:** 会員にとって指針となるような意見および見解の発表。原稿用紙2枚(刷上り1ページ)以内。

**1.3.2 さ ろ ん:** 学会報告、会員の意見、質疑応答など会員相互の交流に役立つ記事。

**1.3.3 書 評:** 光学および光技術に関連のある内外の新刊書の紹介。

**1.3.4 文献抄録:** 文献抄録委員会において紹介された文献の抄録。

**1.3.5 会よりのお知らせ:** 光学懇話会の活動状況報告および関係行事の予告等。

**1.3.6 光学関連会合予定:** 光学および光技術に関連のある会合および行事等の開催日時、場所等の案内。

#### 1.3.7 そ の 他

### 2. 投稿の手續

**2.1** 投稿者は原稿に投稿票をつけ、コピー1部とともに下記の「光学」編集局に提出してください。

〒113 東京都文京区湯島 2-30-9

(財)学会誌刊行センター分室内

「光学」編集局

**2.2** 本会専用の原稿用紙、投稿票、投稿規定および執筆要項は編集局に請求すれば送付します。原稿用紙の代金は1枚5円(郵便切手でよい)。送料は実費。依頼原稿の執筆者には編集局より無料で送付します。

### 3. 著作権

本誌に掲載された記事の著作権および版權は、(社)応用物理学会光学懇話会に帰属します。ただし、本会が必要と認めるとき、あるいは外部から引用の申請ならびに版權使用の申請があったときは、編集委員会で審議し、転載ならびに版權使用を認めることがあります。